

132X

55

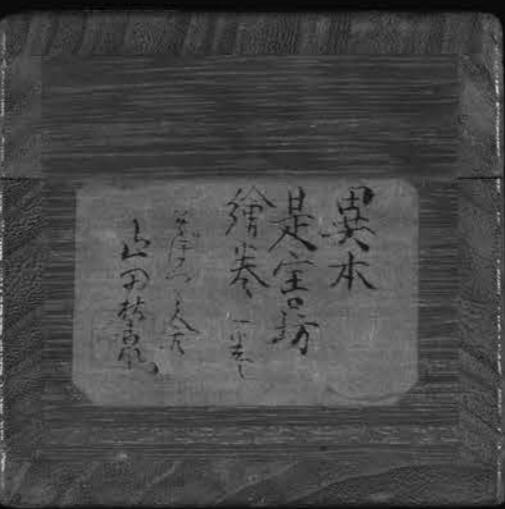
1

新編古今圖書集成

卷之二

28

132X
55
1
傷みのため閲覧停止・画像優先



足害坊論卷

殘闕

132X
55
1

二重のいく
えとそと一箇所のうへてとまくゆきにて

二重のいく



わざと國のんすりあ
名をちけふとく行
國のうとくゆき



日羅



わが國にいきなりの
居をうじぐゆう人



二重身のいふ

えりもとおとと一嘴圓ひあつてまちくらににて
まきまき一星夜うめり命とひすへほとし
轟轟とうちまくまくうちらうふうち佛はま
うそて金づうとまく下のゆくゆくゆくまうす
くくひまく

口説

金づうての星年へまくまくゆとし初うめくら
うそしがちとまくまくけんか圓へらむ

まくまく佛うちまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく

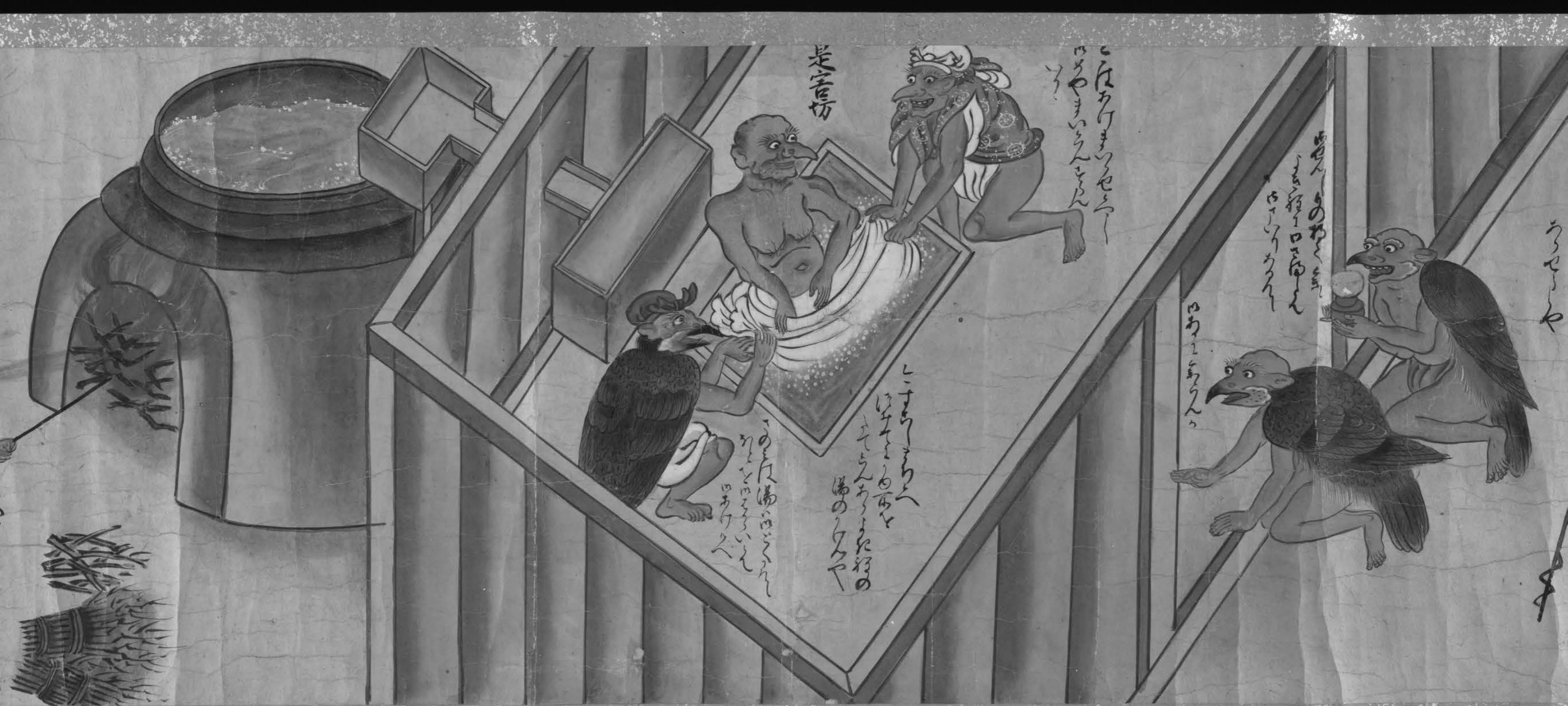
おのれのえあくし柿
るもばとてよとせ音
か年あけうきまくま
くまくま
くまくま



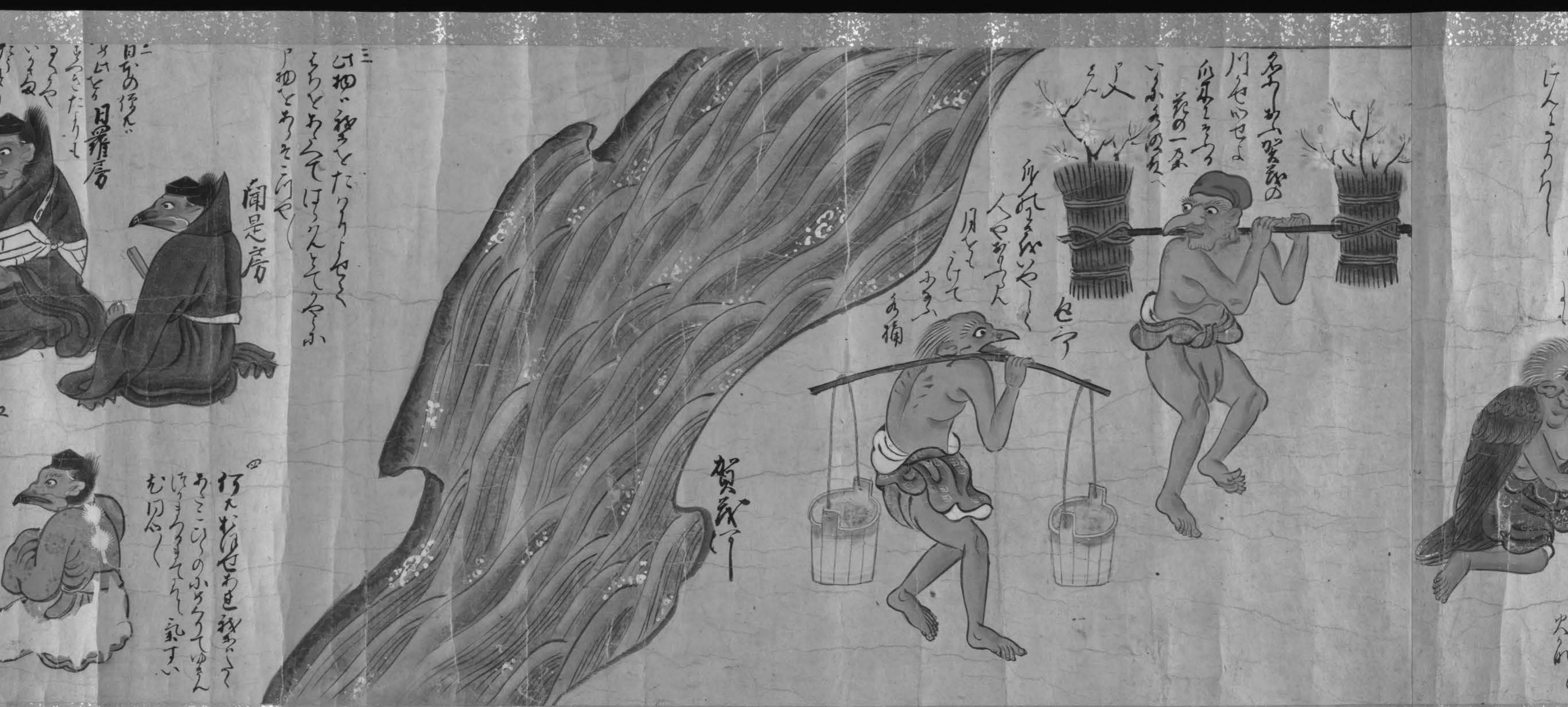












三
ひゆの夢とたづかひく
もうとちうてほんとうふ

卷之二



行たむをせむをせむと
うごこのふどうてゆゑ
ほくまうますらへ氣す、
むゆくし



卷之三



是害房



卷之三



身にそぞくもの
うひとまつや
をちの



まことにあつまつと人され
ものまゝでわらはうて
一如とえよのき物



中高の文

日羅房

経うて事も豈れ
かくのゆめむらりの
おとづれすあらわし
よきや



まわるあらそとんす
まのまつてあらふうす
一如とぞとよみき物
まへんす



津浦のゆく
えいじゆく
きこへ

是善房

ソヤミテヨリマシ
ガリヨキキドリス
モリヘンキミアリエカシ
ミハヅムのえんえ
アハセヤキラセマセヤ



日羅房

う津名あくや又行角自ふくよしやけと
せんきくまくあくびくらくくらくくらくま
ア
一
うち下てゆかにがまなむか
かねすうじゆきあらとせり



日羅房

日羅房

う沖名あらや又片角ふうとくやほ
せんそそまくさきうふくらふこだま

了 一音

うらすくゆふわがまつむのすこ
かめくらけうらうそとせよ

り番

是喜坊

おひはるのま山うる
月小金とくね津鴨

是喜坊

